

令和5年度 第1回 尼崎市社会教育委員会議 議事要旨

1 社会教育委員会議概要

(1) 日時

令和5年9月1日(金) 午前10時00分～正午

(2) 出席委員数

9名

(3) 協議事項等

- ア 社会教育施策に係る施策評価について
- イ 令和5年度尼崎市立図書館事業計画について

2 協議事項等の議事録

(1) 社会教育施策に係る施策評価について

ア 事務局から社会教育施策に関する説明

イ 主な質疑応答内容

- (委員) 施策評価表の目標指標であるが、指標名の横に方向性が記載されている。これは数値の上昇・下降の方向性を示すものか。
- (事務局) その通りである。
- (委員) 主要事業の提案につながる項目には、「部活動の地域連携に向けた取組については、学校現場や生徒・保護者の理解を得ながら進めていく。」とあるが、地域と学校の教員とでは、子ども達への指導方法や関係性が異なってくるため課題になってくるのではないか。また、部活動の地域連携について、教員がどのような意見を持っているかの調査等を行っているのか。
- (事務局) 部活動の地域連携については、休日と平日の部活動の指導方法等について、地域と指導に当たる教員とのコミュニケーションの取り方が課題となってくる。また、教員に対する意見聴取ということで、部活動の地域連携に関するアンケート調査を実施している。
- (委員) 地域と学校の連携として、学校、地域団体、大学が連携して活動しているが、地域外の大学生の意見は大変新鮮で刺激となっている。私自身、学校と大学との調整役を担っている。
- (委員) 具体的には、どのような調整があるのか。
- (委員) 大学生による出前授業を行っているが、大学側については、就活等のタイミングがあるため、大学が実施できる日程と学校が実施してほしい日程が合わない場合があるため、その調整役を担っている。
- (委員) 東北地方の大学では年間を通じて、地域連携の授業カリキュラムを組んでいる。これは、大学の授業の枠に結びつけることにより実施しており、大学生が地域との連携を行うことは大きな経験となるが、年間を通じた出前授業の実施を行うには、様々な調整が必要であると感じた。
- (委員) 人権教育小集団学習は尼崎独自の取組であるが、活動団体が減少傾向にある。また、色々な人権課題がある中で、最近では児童生徒に対する対応をどのようにしたらいいのかということで、教員がLGBTQ+について学びたいとしている。
- (委員) 市民の方が実施する子ども向けの教室について、施設利用料の減免や免除の仕組みがあると、もっと活動に広がりを見せると思う。

- (事務局) 施設使用料の減免等については地域課に相談していただきたい。また、子ども向けの教室を地域課と連携し、地域課主催で事業を実施すると、更なる広がりを見せると思う。
- (事務局) ボランティアの方には子ども達に色々なことを教えてほしいとのニーズが、学校にはあると思う。そういう人達と出会うために地域課がつなぎ役となって、学校に情報提供していただくと、学校も喜ぶのではないかと思う。
- (委員) 小田南生涯学習プラザでは、地域団体による無料塾が毎週開催されている。学校や地域のハブ化はすごく大事なことだと思うが、学校や教員に関われない子ども達がいるのが現状である。無料塾はボランティアで教えているが、教える側の数が少ないということである。また、「連携」という言葉がよく出てくるが、色々なコンテンツ間の協働・連携があればいいと思う。例えば、歴史・図書館・観光など連携できそうなコンテンツがあると思うので、今年度はこのようなテーマで協働しているというようなものが打ち出されればよいと思う。

(2) 令和5年度 尼崎市立図書館事業計画説明について

ア 事務局から令和5年度 尼崎市立図書館事業計画の説明

イ 主な質疑応答内容

- (委員) 説明を聞いていくつかアイデアが浮かんだ。①旧聖トマス大学の外国語の蔵書について、尼崎市在住の外国籍の方にお知らせしてはどうか。②学習コーナーや休息スペースの確保について、子どもはフラットなスペースの方が楽に本が読めると思う。③各イベントに移動図書館が出向き、その場で図書館の登録手続きを行ったり、本を借りたりすることが出来ればよいと思った。
- (事務局) 過去に、青空図書館を実施したというような記録が残っている。どこまで実現できるかは分からないが、いただいた意見を参考にさせていただきたい。
- (委員) LINE やアプリが導入されているが、ダウンロード数はどれくらいあるのか。
- (事務局) ダウンロード数については、把握していない。
- (委員) LINE やアプリの活用等については、地域学校協働活動推進員を通じて各学校に周知することができる。
- (事務局) 電子図書についてもそうであるが、学校の児童生徒に知らせする機会が少ないのが現状であるため、良い方法を模索している。
- (委員) 各学校には図書ボランティアの方がいるため、その方に、情報提供するという方法も考えられる。
- (委員) 北図書館には駐車場がないのが残念である。北図書館を建て替える場合などについては、駐車場を整備してほしい。先日、豊岡市に行ったときに街角図書館があった。日常生活の中に、本を借りることができる場所があれば素敵だと思った。
- (事務局) まだまだ数は少ないが、尼崎市の商店街にも本を借りられるところがあるため、そのような場所が増えていけばよいと思っている。

以上